

大人も子どもも楽しめる！ イベント特集

県立郷土館

写真展「土門拳の昭和」

5月20日(金)～

リアリズムを追求し、『筑豊の子どもたち』『風貌』や不朽の名作『古寺巡礼』など傑作写真集で知られる土門拳。その生誕100年を記念する本展で、昭和10年からの作品約300点を厳選紹介し、昭和という時代を浮き彫りにします。

- 会期：5月20日(金)～7月3日(日)
※会期中、休館日はなし
- 時間：9:00～18:00
- 会場：青森県立郷土館
- 観覧料：一般・大学生 1,000円(800円)、
高校・中学生 700円(500円)
※小学生以下は無料、()内は20名以上の団体料金



☎017-777-1585

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html>

県立美術館

開館5周年記念 光を描く印象派展

7月9日(土)～

ドイツ屈指の印象派コレクションを誇るケルンのヴァルラフリヒャルト美術館は、印象派誕生の謎を解き明かすべく、3年間をかけて作品の調査を行いました。赤外線や顕微鏡などを使った科学的な調査を含め、その成果を一挙公開した展覧会は大反響。青森のみで開催される日本展には、ヴァルラフリヒャルト美術館から約60点を超える名画とその研究成果が出品されます。さらに日本の名画も加えて、時代を超えた印象派の魅力に迫ります。

- 会期：7月9日(土)～10月10日(祝月)
- 開館時間：9月30日まで
9:00～18:00(入場は17:30まで)
※10月1日以降
9:30～17:00(入場は16:30まで)
- 観覧料：前売券 一般1,300円 高大生600円
当日券 一般1,500円(1,300円)
高大生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金
※小・中・特別支援学校の児童・生徒は無料

☎017-783-3000

<http://www.aomori-museum.jp/>

浅虫水族館

「夜の水族館見学会」

6月4日(土)ほか

普段見ることのできない夜の水族館の様子を公開します。照明の消えた水槽では、昼間とは違う生き物たちの姿を見ることができます。



- 実施日：6月の毎週土曜日
- 実施時間：17:30～20:00

☎017-752-3377

<http://www.asamushi-aqua.com/>

県立梵珠少年自然の家

「アウトドアライフ2011 inサマー」

7月30日(土)～

- いかだづくり・いかだ遊び、登山、野外ゲーム、野外炊事、キャンプファイヤー、テント泊など
- 期日：7月30日(土)～8月2日(火)
- 募集期間：6月30日(木)～7月22日(金)
※ただし、定員になり次第締め切ります。
- 定員・対象：小学5年から中学3年までの児童生徒 40名
- 経費：5,000円程度
- 申込方法：電話、FAX又は電子メールで

☎0173-29-3303/FAX0173-29-3306
E-mail e-bonju@pref.aomori.lg.jp

情熱青森！ レポート

vol.13

「(藤) あと、エキストラの方が気さくに話しかけてくれたことも印象的でした。さっきの方言違いうよ」とか言われて

「(藤) 僕は津軽そば。素朴な味で、すごい美味しかったです。毎日食べたいくらい。」
「(藤) 僕は何と言っても、とくさんの作るシジミ汁/十三湖のシジミはアサリくらいの大きさが本当に美味しかった。水筒に入れて現場に持って行って、お昼にスタッフみんなでいただいでいました。」

「(藤) 東京から弘前まで、思い立ったらすぐ行ける。新幹線が開通して地元産業も気合いが入っているから、この調子で青森県が元気になってくれると嬉しいな。」

「(藤) うん。映画に映っているキレイな青森県の風景を見て、また頑張ってもらえたら嬉しいな。少しでも早くたかさんの人に笑顔が戻ったらいいなと思っています。」



「津軽百年食堂」4月2日(土)より全国順次ロードショー ©2011「津軽百年食堂」製作委員会 tsugaru100-movie.com

オリエンタルラジオ お笑いタレント 中田敦彦、藤森慎吾で結成されるお笑いコンビ。2004年に結成。映画「津軽百年食堂」では主演を務め、お笑い以外でも精力的に活動している。

「(藤) 僕が青森に滞在していた1か月間は、ちょうど桜祭りの時期だったんです。そこで見た弘前城のお堀の桜は忘れられないですね。歴史的な建物も多いしキレイなことだったな。」
「(中) 僕は、撮影が1日だけだったんです。だから最初は映画で使った街並みがセッティングだと思ってもセッティングじゃないんですね。だから今あらためて、あのキレイな街並みがセッティングじゃなかったことに感動しています(笑)。」

「(藤) 僕は何と言っても、とくさんの作るシジミ汁/十三湖のシジミはアサリくらいの大きさが本当に美味しかった。水筒に入れて現場に持って行って、お昼にスタッフみんなでいただいでいました。」

「(藤) 八戸はロケで使わせてもらったところも、ちょっと流されてしまったんです。だからやっぱり思い出しますよね。たくさん元気をもらった場所だから、いつか必ず恩返ししたいなと思っています。」



「津軽百年食堂」の題字は弘前市在住の菊池錦子さん

ロケで感じた青森県の印象を教えてください

「(藤) 僕が青森に滞在していた1か月間は、ちょうど桜祭りの時期だったんです。そこで見た弘前城のお堀の桜は忘れられないですね。歴史的な建物も多いしキレイなことだったな。」

「(藤) 僕は津軽そば。素朴な味で、すごい美味しかったです。毎日食べたいくらい。」

「(藤) うん。映画に映っているキレイな青森県の風景を見て、また頑張ってもらえたら嬉しいな。少しでも早くたかさんの人に笑顔が戻ったらいいなと思っています。」

映画「津軽百年食堂」でW主演をつとめたオリエンタルラジオの藤森慎吾さんと中田敦彦さんに青森県の魅力を語っていただきました。

読者プレゼント「名菓 八戸 うみねこバクダン」

10名様

応募方法

ハガキに、住所、氏名、年齢、電話番号、今回の「県民だよりあおもり」の感想、興味を持った記事を明記の上、下記宛先にお送りください。なお、応募者が多い場合には抽選となります。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。030-8570 青森市長島1-1-1 青森県広報広聴課「読者プレゼント」係



がんばろう青森！～復旧から復興へ～

東日本大震災から2か月余が経ちました。地震発生直後から、県では一刻も早い復旧・復興にむけ、様々な対策を講じてまいりましたが、この間の県民皆様の、あたたかな御支援・御協力に、心から感謝いたします。

私たちのふるさと青森は、これまでも多くの苦難を乗り越えてまいりました。このたびの震災も、観測史上例を見ない大きな災害ではありましたが、私たちが先人から引き継いだ、くじけない心があれば、この大災害も必ずや克服できると確信しています。

本県が、そして東北全体が元気を取り戻していくためには、私たちの智慧と勇気、そして思いやりあふれる豊かな心が大きな力となります。未来を築くという強い意志をもって、希望の灯を高く掲げ、青森の元気、東北の元気を創るため、力をあわせていきましょう。

がんばろう青森！

平成23年6月 青森県知事